

# アバティーン・フレパラトリー・スクール

レポート：浦野真沙子

## ★概要

モンテッソーリメソッドを取り入れた独自のカリキュラムにより、私立ならではの充実した保育を行っている。

- ① プリスクールから12年生までの一貫教育
- ② プリスクールはモンテッソーリ教育を基本に遊びから学ぶ
- ③ 教師のは自立を大切に子どもを言葉でうごかす
- ④ 教師はハンドベルを鳴らし子ども達に話をする合図をだす
- ⑤ 子どもは全員手を頭にのせ全ての動きを止めて聞く
- ⑥ 自主性・協調性・社会性を育むために、4歳までに感覚を養う内容のプログラムが中心となる
- ⑦ 教師は「ダメ」ではなく、子どもの思いを大切に自由に伸び伸びと過ごす子どもを見守る
- ⑧ 一人ひとりの「個性」・「特性」に合わせたフォローをする
- ⑨ トラブルが起きたとき、「どうしたの?」「なぜそうなったの?」「どうしたいの?」とまず意見を聞きアドバイスをする
- ⑩ 先生同士の連携・人数確認をこまめに行う
- ⑪ 基本的には午前保育 希望者は延長出来る
- ⑫ ランチは自分のタイミングで食べられる
- ⑬ スナックのシェアは禁止アレルギー



事故防止のためランチは全員ピーナッツフリーのみ

## ★保護者との連携

- ① 普段から迎えに来たときによく話し合い、Eメールでのやりとりがある
- ② 年2回の報告カード+面接
- ③ 家庭での事なども日頃からよく話している

## ★教師の話

- ① 子どもと接する中で大切にされてることは?
- ② 「社会性を身に付けること。人は1人では生きていけない。
- ③ たとえ勉強が出来ても、まわりの友達



と上手に出来ることが大切。」

- ④ 「結果よりもプロセスを大切にしている。本人が頑張っていることが大切。」

### ★感想

- ① 広大な敷地の中でのびのびと遊ぶ子ども達は、とても元気で今の日本ではあまり感じられないダイナミックで活動的な印象でした。
- ② 遊具で遊ぶ子・コートにチョークで絵を書く子ども、それぞれが思い思いに遊んでいました。高校生くらいの学生も遊びに出てきていますが、異学年の子ども同士で遊んだり気さくに声をかけ合っていました。
- ③ 保育のなかで、「静」と「動」がハッキリとしてしている印象でした。話を聞くとき・元気に遊ぶときが分かれていました。
- ④ 先生同士の連携が素晴らしく、互いに人数把握・子どもの様子について等をよく話し合っていました。
- ⑤ 保育技術をたくさん学ぶことが出来ました。

